

Ⅲ. 教育の実施体制

1. 教員組織

(1) 教員数・構成 (2008年5月1日現在)

1) 専任教員数

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数 ()内は教授数	助手	副手・補助職員・技術職員等	備考
	教授	准教授	講師	助教	計				
情報処理学科	4	4	1	0	9	7 (3)	0	0	
国際文化学科	4	4	3	0	11	5 (2)	0	0	
(小計)	8	8	4	0	20	12 (5)	0	0	
学科外所属	0	0	0	0	0		0	2	
(合計)	8	8	4	0	20	4 (2)	0	2	

* 設置基準で定める教員数 (合計) 欄には、短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数 (第22条別表第1のロ) を記載している

2) 専任教員年齢構成

区分	専任教員(助教以上)年齢構成							助手等の平均年齢	備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下	平均年齢		
両学科合計 20人	0	6	7	2	5	0	52.0		

3) 専任教員名簿

(専任教員)

職名	氏名	(学) 東海大学 採用年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職発令 年月日	
学長	高橋 守人	70.4.1	06.10.1	08.4.1	
情報処理学科	主任・教授	斎藤 守正	74.4.1	92.4.1	08.4.1
	教授	伊津 信之介	80.4.1	94.4.1	03.4.1
	教授	佐竹 則昭	07.4.1	07.4.1	07.4.1
	教授	三木 容彦	72.4.1	90.4.1	03.4.1
	准教授	末松 泰子	92.4.1	92.4.1	02.4.1
	准教授	徳永 克美	74.4.1	90.4.1	99.4.1
	准教授	矢原 充敏	93.4.1	93.4.1	08.4.1
	准教授	八尋 剛規	92.4.1	92.4.1	08.4.1
	講師	宮川 幹平	03.4.1	03.4.1	08.4.1
国際文化学科	教授	高橋 守人	70.4.1	06.10.1	08.4.1
	学長補佐・教授	真下 仁	90.4.1	90.4.1	08.4.1
	主任・教授	宮内 順	00.4.1	00.4.1	08.4.1
	教授	吉岡 メリー エレン	91.4.1	91.4.1	05.4.1
	准教授	赤井 ひさ子	92.4.1	92.4.1	00.4.1
	准教授	伊原 奉賢	93.10.1	93.10.1	96.4.1
	准教授	神山 高行	93.4.1	93.4.1	99.4.1
	准教授	チョウ アンナ	07.4.1	07.4.1	07.4.1
	講師	大方 優子	04.4.1	04.4.1	04.4.1
	講師	北濱 幹士	04.10.1	04.10.1	05.4.1
講師	竹内 裕二	07.4.1	07.4.1	07.4.1	

(2) 教員の授業担当数 (2008 年度)

1) 専任教員担当授業数

所属	総コマ数 (年間)	教員一人当たりの担当持ちコマ平均 (1 週間)				
		全体平均	教授	准教授	講師	助教・助手
情報処理科	58.3	6.5	5.1	9.0	8.0	
国際文化学科	77.3	7.0	5.9	8.0	7.3	
計	135.6	6.8	5.5	7.8	7.5	

2) 兼任教員 (非常勤教員) 担当授業数

科目種別	総コマ数 (年間)
両学科共通科目	17
情報処理科専門科目	8
国際文化学科専門科目	12
計	37

2. 教育環境

(1) 校地面積等

- ・校地面積 77,714.71 m²
- ・建物面積 11,605.01 m²
- ・建物別・用途別面積 (登記簿謄本上面積) (単位: m²)

	1号館	2号館	3号館	部室	守衛室	エネルギー棟	体育倉庫	プロパン庫	コモンホール	合計
階数	6	5	2	2	1	2	1	1	3	
床面積	3,962.07	4,222.80	1,220.00	297.82	28.94	181.30	38.03	7.50	1,646.55	11,605.01

【内訳】

講義室	1,402.05	1,144.47	-	-	-	-	-	-	-	2,546.52
演習室	95.62	652.40	394.17	-	-	-	-	-	-	1,142.19
研究室	317.80	299.70	-	-	-	-	-	-	-	617.50
管理関係その他	1,973.28	1,233.94	94.83	-	28.94	181.30	-	7.50	-	3,519.79
学生会館	141.82	-	731.00	-	-	-	-	-	-	872.82
課外活動施設	-	-	-	198.15	-	-	-	-	-	198.15
図書館	-	892.29	-	-	-	-	-	-	-	892.29
講堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育施設	-	-	-	99.67	-	-	38.03	-	1,646.55	1,784.25
附属研究室	31.50	-	-	-	-	-	-	-	-	31.50
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 教室環境とその整備体制

号館	階	教室名	整備状況
1号館	3階	保育学演習室	ピアノ2台
		1302 教室	特に無し
		1303 教室	移動マイクアンプ有
		1304 教室	特に無し
		1305 教室	移動マイクアンプ有
		1306 教室	特に無し

	4 階	1307 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		1401 教室	マイク使用可
		1402 教室	特に無し
		1403 教室	特に無し
		1404 教室	特に無し
		1405 教室	特に無し
		1406 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有、書画カメラ有
	5 階	視聴覚教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 テレビ（BS・CS放送受信）
		LL 教室	プロジェクター有
2号館	1 階	2102 教室	特に無し
	3 階	コンピュータ実習室 1	コンピュータ 52 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 2	コンピュータ 32 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 3	コンピュータ 26 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS, DV, HDD ビデオレコーダー有
		コンピュータ実習室 4	コンピュータ 28 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 5	コンピュータ 8 台 MIDI コントローラ、USB ミキサー、ボーカルマイク、 CDJ、DAW・総合音源、VOCALOID 初音ミク使用可
4 階	ゼミ室 2・3	移動マイクアンプ有	
5 階	2501 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可	
	2502 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS 有	

(3) 整備状況

1) 2号館外壁改修工事

本学開学後 18 年が経ち、随所に雨水漏れによる腐食が進み、5ヶ年計画で建物のバルコニー塗装工事、防水工事及び吹付塗装工事を実施したが、最終年度として 2号館外壁の改修工事（吹付）を実施した。

2) 2号館揚水ポンプ改修工事

2号館受水槽揚水ポンプは設置後 19 年目に入り、これまで劣化部分を補修してきたが、腐食が著しく今後館内に給水できない状況に陥ることが懸念されたので、揚水ポンプの取替改修工事を実施した。

3) 3号館空冷ヒートポンプチラー圧縮機交換工事

3号館空冷ヒートポンプチラーは屋外に設置後 19 年目に入った。保守点検を定期的に行っているが、経年的劣化が進み故障頻度が増してくることが懸念された。

3 年前に電気部品保全・保護網等の交換整備を行ったが、圧縮機は設置時のままで、冷媒系統の膨張弁は現在不調であったので、圧縮機の交換工事を実施した。

4) 2号館井戸水給水濾過処理装置設置工事

本学の上水は井戸水を使用しているが、降雨量が不足すると白く濁った状態になるので、2006 年度に 1号館に濾過処理機を設置した。水質検査には飲料水として適合しているが、より安全な状態で使用したいので、2号館にも濾過処理機を設置した。

5) 1・2号館井戸ポンプ制御盤BOX取替工事

本学が使用する井戸水を汲み上げるための制御盤は屋外に設置してあり、錆による腐食が進んで扉の破損や雨水の流入などが生じ故障の起きる原因となるので、故障を防ぐため取替工事を実施した。

6) 1・2号館天井及びサッシ補修工事について

1・2号館内は穴が開いている天井が数箇所あり、2号館西側の出入り口は開閉が困難な状況であり、他にもサッシクレセントの故障により防犯上補修が必要な箇所があるので、補修工事を実施した。

7) 2号館樋取替工事

1・2号館ベランダの雨水用の樋は木の根の混入により、詰まっているものが多く腐食が進んでいる。2010年度に改修工事を予定しているが、2号館南側の1本は特に腐食が激しく危険であるため、取替工事を実施した。

8) 1号館玄関内ロビー照明ランプ取替工事について

1号館玄関内のロビー照明は36灯あり、ほとんどが球切れを起こしている。2階までの吹き抜けの天井に設置してあるため、足場を組む必要があり、照明ランプの取替工事を実施した。

3. メディア情報環境

メディア情報センターは2002年4月に、情報のデジタル化、教材のWeb化が急速に進展している現在、本学の教育の基本方針「学びの自由化と個に応じた教育」を実現するに当たって、最も重要な情報環境の整備及び学習資源の蓄積・管理・運用・開発支援を担当するセンターとして、図書館、電子計算室、メディアラボを統合した形で新設され、2004年4月には更なる機能充実を目的に、当初の名称「メディア情報学習支援センター」から「メディア情報センター」に改称し、「情報システム室」「ラーニングリソースラボ」「管理企画室」を設置した。

「情報システム室」は本学情報環境全般の基本システムの維持管理及び運用支援さらには一部開発を、「ラーニングリソースラボ」は教材のWeb化推進のための開発環境の整備及び開発支援、図書・eラーニング教材など学習資源の蓄積・管理・運用を、「管理企画室」はメディア情報センターの管理運営・企画に関する事務又は技術全般を、それぞれ担当することに、また、「エクステンションセンター福岡講座運営委員会」の業務もメディア情報センターに移管し、これも担当することになった。ただ単に旧来の組織を統合したものではなく、「学習者一人一人を中心とする」という意味で、管理運用の面でも質的な変革を目指したセンターである。

(1) 図書館

1) 概要

図書館の概要は次のとおりである。

2008年度 図書館の概要

床面積	908.00m ²
書架棚総延長	2040m
収容能力	80,000冊
奉仕対象学生数	310人
座席数	120席
蔵書数	73,654冊
視聴覚資料	2,481点
予算	3,327,000円
開館時間(通常 月～金)	9:00～18:00
開館時間(通常 土)	9:00～16:00
開館日数	257日
入館者数	22,096人
一日平均入館者数	86人
学生貸出冊数	1138冊
学生一人当たり貸出冊数	3.7冊
外部貸出冊数	14冊

図書・雑誌・視聴覚資料等の蔵書詳細は以下のとおりである。

和書・洋書総蔵書冊数

和書	洋書	合計
67,435 冊	5,957 冊	73,392 冊

2008 年度受入蔵書冊数

	和書	洋書	合計
購入	766 冊	0 冊	766 冊
寄贈	4 冊	0 冊	4 冊
視聴覚	0	0	0
合計	770 冊	0 冊	770 冊

雑誌総所蔵数

和雑誌	洋雑誌	合計
454 種	57 種	511 種

2008 年度受入雑誌種数

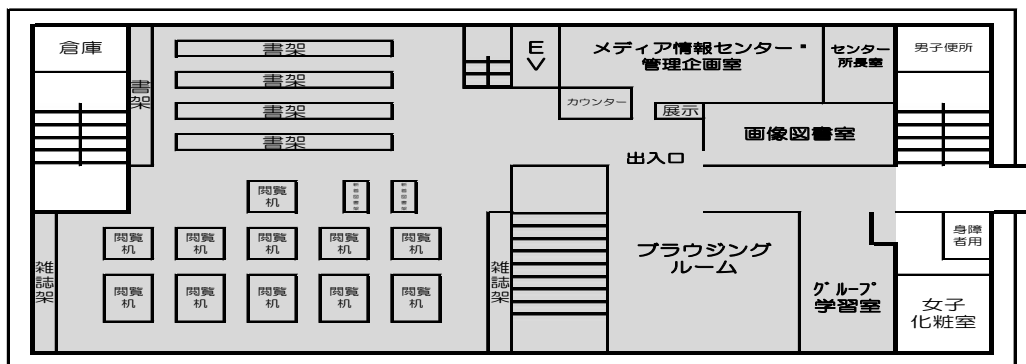
和雑誌	洋雑誌	合計
224 種	12 種	236 種

視聴覚資料総数

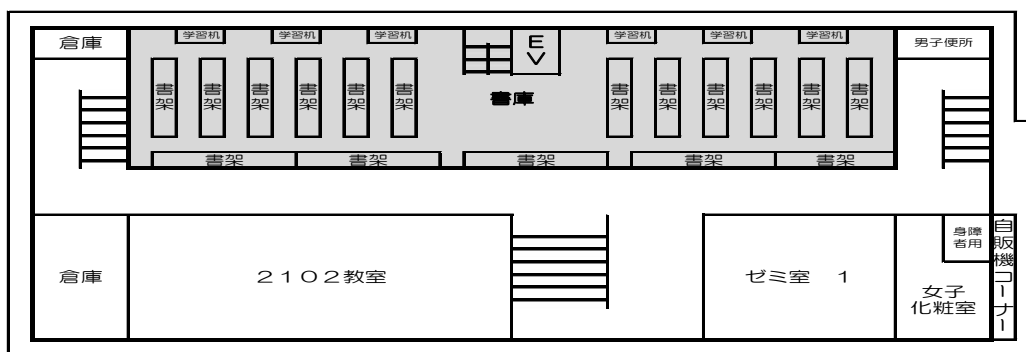
ビデオ	LD	DVD	CD	カセット
1,326	183	293	551	128

また、全体配置図は以下の通りである。

フロアガイド



2号館2階



2号館1階

(機器設備の配置状況)

本学では、図書館が2号館の1階と2階に配置されている。館内には書庫と閲覧室以外に画像図書室、グループ学習室、ブラウジングルームを備えている。その概要は上記表に示したとおりであるが、その他にAV機器12セット、コピー機1台がある。パソコンは、事務用として3台、利用者の図書検索用として1台配置しており、いずれもLANに接続している。

画像図書室には、ビデオ、DVD、CD等が視聴可能な機器を12セット備えており、各種語学・資格試験講座・視聴覚教材の他に、各種の音楽や映画等のVHS・DVD・CD等を視聴することができ、利用者も比較的多い。閲覧にはヘッドホンを使用させ、かつ図書閲覧室とは分離させてあるため、音等の問題は発生しない。

グループ学習室には、机、ソファタイプの椅子、ホワイトボードが配置されており、20人程度のグループ学習に対応できるようになっているが、利用頻度は極めて低い状況である。図書閲覧室とは分離させてあるため、ディスカッション時の声等の問題は発生しない。

ブラウジングルームには机、ソファタイプの椅子、新聞が設置されており、集った学生同士の自由な議論の場として提供している。

新着図書に関しては、2階閲覧機のそばに専用の書架を設置しており、古くなったものから随時書庫に移動している。

(図書館システムと情報化)

本学単独のシステムとしては稼働しておらず、東海大学中央図書館に専用回線で接続し、図書館情報システム(iLiswave:TIME)を利用しており、蔵書検索にはOPACを用いている。東海大学付属図書館所蔵書誌データベースと国立情報センター目録情報システムをベースとした遡及入力作業も順調に推進しており、今年度までに32,647件(47.5%)完了している。また、図書館ホームページを公開しており、新着図書情報、図書検索が行えるようにしている。

(図書の購入・廃棄)

2008年度の図書予算は3,327,000円であり、内、図書費・図書資料費は2,770,000円である。図書の購入は、教職員からの希望、学生の希望を優先し、館員がウィークリー出版情報等図書カタログからも選定している。これらの選定図書については、本学の教育及び研究活動に対する有用性について十分に留意し、また学生の希望も勘案の上、ラーニングリソースラボ室長の承認を得て購入している。また、資格関連の図書については、毎年内容が更新されることから、関係教員から選定してもらった資格図書について定期購入を行っている。

廃棄図書については、以下に示す固定資産とした資料に関して、除籍資料明細書を作成し、ラーニングリソースラボ室長より所定の手続きを経て、理事長の決裁の上、除籍する。

- (1) 紛失資料で所在不明となって3年を経過したもの
 - (2) 破損・汚損・摩擦等が甚だしく補修不能なもの
 - (3) 資料価値を失ったもの
 - (4) その他ラーニングリソースラボ室長が除籍を適当と認めたもの
- 除籍・抹消した資料については、所定の手続きにより破棄する。

(図書館の運営)

図書館の運営にあたっては、メディア情報センター運営会議で審議検討される。現在、ラーニングリソースラボ室長(教員)、常勤職員1名、学生スタッフ20名がおり、図書館の運営に特に問題はない。

(学生の利用促進への取組み)

4月に全学生に配布するキャンパスガイド内に、図書館利用ガイドを記載しており、入学時オリエンテーションあるいは全体ガイダンスの場において利用方法を解説して積極的な利用を促している。また、ブラウジングルームや希望図書・DVD・CDの投書箱を設置し、学生が利用しやすい環境を整えている。

(他大学、地域との連携)

本学は、国立情報学研究所（NACSIS）に参画しており、他大学との図書館相互貸借を行っている。また、「福岡県・佐賀県大学図書館協議会」のメンバーとして、近隣大学とも積極的な取組みを行っている。

地域との連携では、本学の所在する宗像市における「むなかた大学のまち協議会」に参画しており、市民図書館、同市内の福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学との間で図書館相互貸借を実施している。その他、一般市民に対しても図書館を開放しており、図書の貸出サービスを実施している。

2008年度の相互貸借状況は以下のとおりである。

他図書館との相互協力状況

相互貸借件数		文献複写件数	
本館からの貸出冊数	他館からの借受冊数	他館からの受付件数	他館への依頼件数
14	1	0	0

(学生の利用状況)

学生の利用頻度は、2008年度総入館者数 22,096 人、画像図書室利用総数 591 人、貸出冊総数 1,138 冊となっている。学生の閲覧頻度が高い図書については複数冊購入しているが、これらの図書の閲覧時期が集中するため、希望図書を閲覧できないこともある。また、図書閲覧室の利用時期についても、検定試験前あるいは定期試験時期に集中する傾向があり、これらの時期は閲覧席が満席に近い状態となることがある。それ以外の時期は、1割程度の利用であり、夏期・春期休暇中の利用者は非常に少ない。

画像図書室の利用状況は、授業実施時期で1日平均48人程度の利用であり、現時点で座席数等の問題は無い。ブラウジングルームについては、利用頻度が極めて高く、時間帯によっては席が無いこともある。

2) 現状の問題点と改善に向けての取組み

図書購入に関しては、随時希望を受け付けているが、購入時期や購入分野に偏りが見られる。また、ここ数年で学科内に新設した新たな学習分野に関する専門図書が不足している状況である。学生の利用状況も検定試験や定期試験時期以外での利用が極めて少なくなっている。これらは、インターネットの普及のみならずその情報量の急増に伴い、情報入手方法など学習スタイルの変化が大きく影響していることは明らかである。実社会においても、インターネット上の情報をより早く、的確に把握し分析する能力が求められており、この流れは当面続くことが予想される。一部科目においては、図書館の活用を促す課題提示など、図書館の利用促進に向けた動きもみられるが、決して十分とは言えない。その中で、学校における図書館の意義を再確認し、各科目との連携など利用促進に向けた創意工夫が求められるだけでなく、新しい図書館の創造に向けた検討も必要に迫られている。

(2) コンピュータ実習室

1) 概要

2006年度に行った基幹スイッチ・サーバ、クライアントの更新に伴い、実運用と照らし合わせたシステムの改善を進めつつ、安定稼働に努めた。また、文部科学省の現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム（現代GP）の採択（2005～2006年度）により導入されたサーバ、コンテンツについても引き続き運用を行い、教育効果を高めた。

2) 業務内容

a. コンピュータ実習室管理

前年度に更新した新システムの教育環境の改善と安定稼働を目指し、情報システム室の担当職員を中心に委託業者を加え作業を行った。セキュリティ対策として導入したログ収集ソフトウェア、Webカメラ等を運用し、一定の効果を上げた。

b. コンピュータ実習室運営

コンピュータ実習室は午前 9 時から午後 7 時まで開館している。午後 5 時以降の業務は学生アルバイトで対応した。

5 つあるコンピュータ実習室は授業優先で利用され、その他空き時間は学生が自由に利用できる。この間の利用サポートは情報システム室職員により行われる。特に、MS-Office をはじめ学生たちのレポート作成にかかわるサポート、プリンター出力時のトラブルに関するサポートを中心に行われた。情報システム室職員には、パソコン利用に関する幅広い知識が要求された。

c. Web ページ管理

下記に挙げる各 Web ページの維持管理を行った。

- 学外向け公式 Web ページ(<http://www.ftokai-u.ac.jp/>)
- 学内向け Web ページ(<http://www3.ftokai-u.ac.jp/local/student/>)
- ケータイ向け Web ページ(<http://www.pub.ftokai-u.ac.jp/i/>)

なお、学外向け Web ページは、入試情報、公開講座情報、教職員出勤状況をはじめ数多くの情報がリアルタイムで更新されるシステムになっている。学内向け Web ページには、授業情報、休講情報、就職情報、編入情報など、学生たちが学生生活に必要な情報が掲載されている。

d. 維持管理

情報システム室のホスト室には MS-Windows 系サーバが 8 台（ドメインコントローラ、ファイルサーバ、データベースサーバなど）、UNIX 系サーバが 16 台（Web サーバ、データベースサーバ、キャッシングプロキシサーバ、メールサーバ、Web コンテンツサーバ、NTP サーバなど）設置されており、これらのマシンが本学の ICT 化の根底を支えている。これらサーバマシンを 24 時間体制で監視・維持していく必要がある。

e. 他部署 ICT 化補助

ICT 化が進む学内部署において、システム側の作業は順調に進んでいるが、利用率の伸びは鈍い状況である。利用者がこれらを有効利用するためには、システムの操作方法などの把握が不可欠である。このため、利用者に対し必要な補助を行った。

f. 各種情報のデジタル化

学生カルテ、出張上申、学事伝票、業務日報の電子化・データベース化を継続して行った。

g. 福岡キャンパス各組織（付属第五高校、付属自由ヶ丘幼稚園）の支援活動

同一キャンパス内に設置されている付属第五高等学校、付属自由ヶ丘幼稚園の ICT 環境のサポートを行っている。両組織とも ICT に関する専門職員が不在であり、短大情報システム室の技術職員が技術支援・運用支援を行っている。また、一部の業務については福岡短大のシステムを利用している。

3) ネットワーク構成(対外接続)

a. 学内 LAN

2006 年度の基幹 LAN 更新により、バックボーンは 20Gbps となり、これまで以上に大容量の情報通信が可能になった。また、各教室、研究室へも最大 1Gbps の LAN を提供できるようになった。

b. 対外接続

本学の対外接続は SINET 100Mbps, SuperOCN 1.5Mbps, BBIQ 100Mbps で行っている。SINET は媒体として NTT B フレッツを利用し安価に高速回線を確保できている。主にメールの送受信、学外から学内情報へのアクセスに利用している。SuperOCN 1.5Mbps の回線帯域はさほど広くないものの、OCN バックボーンに直結している高品質回線であり、遅延が非常に少なく、また高信頼性を誇る。このため、本学のメイン Web サーバや、学内実習用 UNIX サーバへの学外からのアクセスに利用している。BBIQ100Mbps はグローバル IP を ISP から DHCP によって割り当てられる回線であり、学内情報を学外に提供する回線としては利用が難しい。よってこの回線は学内端末から学外への Web アクセスに利用している。

4) 学外利用者への対応

学外向け利用者へのサービスである「eTokai」(学内呼称)の利用者は、平均2~4名/日程度である。会員数としては5名程度であるが、恒常的に利用されている。サポートは学生アルバイトスタッフを中心に行っている。

